

市民懇談会 開催結果

「守山の子どもたちの
読書について考えよう」

市民懇談会の概要

開催日時：令和 6 年 6 月 29 日（土）

午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場 所：守山市立図書館 つながる森 多目的室

当日の参加人数

参加者 36 名 + ファシリテーター 15 名

6 グループに分かれて議論

アンケート：案内送付時に「読書に関するアンケート」を実施
142 名より回答あり

※参加者の抽出方法

無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人に案内を送付

テーマ

「守山の子どもたちの 読書について考えよう」

参加者への趣旨説明

- ・令和6年3月で「守山市子ども読書活動推進計画 第3次計画」が終期を迎える。
- ・「第4次計画（令和7年～令和11年）」の策定にあたり、図書館では、本が好きと言える市民であふれ、より広く深く読書に関わることができるまちの実現をめざして、取り組みを進めています。
- ・子どもの読書活動の推進を一層図り、「読書日本一のまちづくり」を実現するために、市民の皆さまのご意見を聞かせていただき、「第4次計画」の策定のための資料としていく。

当日のスケジュール

1. 開会式

2. ワークショップ

Step 1 : あなたは子どものころ本が好きでしたか？ (35分間)

アイスブレイク込み

Step 2 : 本好きを増やす・本嫌いを減らすには (30分間)

中間発表

Step 3 : 守山の子どもたちにもっとたくさん本を読んでもらう
にはどうしたらいいか (35分間)

発表

3. 閉会式

【主な意見】 ステップ1

あなたは子どものころ本が好きでしたか？

好きだった・なぜ？

- 読み聞かせしてもらった
- 親の影響で好きに
- 図書室の空間が好きで
- 図書館が近く、休日に行くのが習慣（家庭環境）だった
- 自宅に絵本や本がたくさんあったので小さいころからよく読んでいた
- 先生から進められたり、友達と交換して読書を楽しんでいた
- 1冊読み切ったことで本を読む楽しさを知った

苦手だった・なぜ？

- 読書感想文で嫌いになった
- 図書館に強制的に行かされた
- 読めない漢字や難しい言葉があったから
- 自分のレベルにあった本を選ぶのが難しい
- 本が身近でなかった、手に入りづらい
- アニメやゲームなどの方がインプットしやすい
- 外で遊ぶことが多く、本を読む機会がなかった

【主な意見】 ステップ2

本好きを増やす・本嫌いを減らすには

好きを増やす

- 読み聞かせが大切
- 身近に本を置いておく
- 好きな本を自分で選ぶ機会を増やす
- 親も本を好きになる
- “読む”にとらわれず“本”を楽しむを教える
- きっかけ作りが大切。おすすめ本の情報など送られてくるようにする
- 調べ物はスマホ・PCではなく本でする。
- どの本がおもしろいのかわかりにくい。内容がわかるようなPOPや紹介がほしい。
- ポイント制導入（小学生ならポイントがたまるなどゲームっぽく、中学生なら内申点にプラスされる）

嫌いを減らす

- 強制しない
- 読書感想文をやめる→苦手意識を持つことが多い
- 親のおすすめや制約をうけない環境を設ける
- 本読みをしなさい！と言わない
- 読める子が良いという評価
- 短く読めるものから慣れさせる
- 自分では読みたくない。よみきかせなら聞ける
- 動画やSNSがあふれている。大人がスマホをさわるから子どもさわる。

【主な意見】 ステップ3

守山の子どもたちにもっと本を読んでもらうには
どうしたらいいか

学校では

- 読むことを強制しない
- 読んだ本のプレゼンをする
- クロムブックに1日1回本の紹介メッセージを送る
- 1冊読んだらスタンプ等読書したことを評価する仕組みづくり
- 歴史マンガ、ラノベ、話題性のある本等児童・生徒が読みたいと思う本を置く
- 「本を読む」ではなく「興味がある本を選ぶ」の時間をつくる
- おはなしボランティアの活動を増やす
- ビブリオトーク（バトル）を授業に取り入れる
- 授業に読書のような時間をつくる。
- 友達同士や、高学年の子どもが低学年の子どもに読み聞かせをする機会を設ける
- あの本はこんな内容、おもしろかった等クラスでおすすめ本の交換をする

【主な意見】 ステップ3

守山の子どもたちにもっと本を読んでもらうには
どうしたらいいか

家庭・地域等では

- お互いにオススメ本をUP出来るようなアプリを作る
- 守山市でランキングを作る→小1、中1、高1ごとに視覚化する
- 子供向けの（1人でよめる）守山WALKERやことりっぷを創る
- 市の広報誌にオススメの本の紹介コーナーを作る
- モーリーが小学校や幼稚園に来て読み聞かせてくれる
- 公民館や古民家で読書（勉強）専用の児童館みたいなものをつくる
- 守山読書の日をもうける

- 図書カードの配布・月に1度本を買う（同意見多数）
- 月間目標ポイント制でプレゼント有
- 読書を習い事にする（皆で読む練習）
- 絵本の読み聞かせをもっと推進
- 親が本を読んでいる、楽しんでいる姿を見せる
- 図書館に子どもをつれていく
- 子どもの興味がある本をたくさん置く
- 強制ではなく自発的に本を読む子になってもらうには？→各家庭で本読みしてプレゼント→ゴミ袋とか

【主な意見】 ステップ3

守山の子どもたちにもっと本を読んでもらうには
どうしたらいいか

図書館では

- 読んだ本のレビューや口コミ、おすすめポイント等が描きこめるアプリの開発
- LINEで司書にレファレンスやおすすめ本を聞ける・おすすめ度をシールで貼る（シールが多いほどおもしろい）
- こども優先時間帯をつくる。しずかにしないといけないから子どもはいづらい
- あそび場としての図書館。オセロをしたり、おかしを食べたり友達と楽しめる場。
- インスタ映えスポットを作る
- 「がんこ堂カフェ」のドリンクチケットを配って図書館に来る機会を増やす
- 貸出冊数によってポイントが付いたり特典を設ける
- 移動図書館
- 図書館へ行く専用の巡回バスを走らせる（貸出カードがあればのれる）
- 読書以外のイベント（図書館へ行く専用の巡回バスを走らせる（貸出カードがあればのれる）
- 本好き、本嫌い同士でフリートーク会（読み手と本のマッチング）